

# 「リーン・マネジメントの本質：価値の最大化」

リーンとは、単なるコスト削減ではなく、「顧客への付加価値を最大化し、ムダを最小化する」経営哲学です。

## 利益を圧迫する「7つのムダ」

- **造りすぎ** (最悪のムダ: 在庫を誘発)
- **在庫** (資金を固定化し問題を隠す)
- **運搬** (物理的な移動は価値を生まない)
- **加工** (過剰な品質や不必要な工程)
- **動作** (作業者の付加価値のない動き)
- **待機** (人や設備が停滞している時間)
- **不良** (手直しによるリソースの浪費)



# 現場を「稼ぐ力」に変える 3つの柱



## 1. 安定化

### 5Sと標準作業

効率化の土台作り。誰がやっても同じ品質・時間でできる仕組みを構築します。



## 2. 流動化

### JIT(ジャストインタイム)

必要な時に、必要な分だけ流す。仕掛在庫を減らし、キャッシュフローを改善します。



## 3. 高質化

### 自動化とポカヨケ

異常があれば即停止。不良品を後工程へ流さない「品質を作り込む」仕組みです。

# | 経営成果とリーダーの役割

-50

リードタイム短縮

%

-30

在庫コスト削減




%

+20

生産性向上

%

## 経営者に求められるコミットメント

-  **現地現物**: 現場に足を運び、自ら事実を確認して課題の本質を把握する。
-  **なぜを5回**: 失敗を責めるのではなく、真因を追及し解決する文化を支援する。
-  **継続的改善**: ゴールは完成ではなく「常に良くなり続けるプロセス」への投資である。

「リーンは手法ではなく、人財育成とプロセスの磨き込みによる『最強の経営戦略』です。」